



パスワード

神戸大学 経済経営研究所

教授 上東 貴志

最近、と言っても既に何年も前からのことだが、インターネットを通じて何かをするのに、ありとあらゆる場面でアカウントの作成が要求される。それは何かを購入するためだったり、情報にアクセスするためだったり理由は様々だが、学術的な活動も例外ではない。論文を投稿する際には、投稿先のジャーナルでアカウントの作成が要求されるし、逆にジャーナルに依頼されて論文を審査するのにも、アカウントの作成が要求されることが多い。

一般的には、アカウント作成には、ユーザーID とパスワードが最低限必要だ。ユーザーID は、メールアドレスだったり、サイト側が決めた番号だったりすることが多いので、必ずしも頭を悩ませる必要はないが、問題はパスワードだ。ユーザーID と同じものにはできないので、毎回何かしら考えないといけない。適当なものにしてブラウザーに記憶させたり、パスワード管理ソフトを利用することも可能だが、それではパソコンを盗まれたり、ノートパソコンをどこかに置き忘れた場合には、第三者に全てのパスワードを入手されてしまう可能性を排除できない。

したがって、できれば、パスワードは自分の頭の中だけにとどめたい。そうすると、サイト毎に新しいパスワードを作っていたら、どうしても覚えきれない。かと言って、同じパスワードを使い回したのでは、どこかのサイトに悪用されるリスクがある。さらに、最近ではサイト毎に、10文字以上にするとか、大文字と小文字を混ぜることとか、アルファベットと数字を混ぜることとか、独自の制約を課してくるので、同じパスワードを使い回すこと自体が難しくなっている。

幸い、多くのサイトでは、パスワードは忘れても再設定できるようになっている。私の場合、パスワードが簡単に再設定できるのなら、最初から覚える努力はしないようにしている。記憶の中からパスワードを探し出すよりも、必要な時に再設定の方が簡単で確実だ。再設定の際には、自分でも再現できないようなメチャクチャなパスワードにして、再設定が済んだら、再設定用パスワード等が書かれたメールも全て削除する。これで、パスワードを再設定する以外はアクセスできないアカウントができあがる。このように私なりの安全対策を講じて、これまで数多くのアカウントを利用してきたのだが、先日、思わぬ出来事があった。

しばらく使っていなかったアカウントにログインする必要がある、例によって、パスワード再設定の手続きをした。必要事項とメールアドレスを入力・送信して、サイトからのメールを待った。再設定は機械的に処理されるので通常は瞬時に来るものだが、なかなか来ない。手続きの際に、メールアドレス等は手入力したので、もしかしたら打ち間違いがあったのかもしれない。そう思い、ブラウザで入力画面に戻って確認しようとしたが、例によってもう戻れない。10分程待ってもメールが来ないので、やはり入力ミスがあったのかと思い、再度、再設定の手続きをした。今度はほぼ瞬時にメールが届いた。

メールに書いてある指示に従い、再設定用パスワードを入力してアカウントにログインしようとしたところ、

「ユーザーID かパスワードが間違っています」

というメッセージが出てきた。パスワードをコピーペーストしたのがいけなかったのかもしれないと思い、手入力してみたが、結果は同じだった。日本語入力がオフになっているか、キャピタルロックキーがオフになっているか確かめつつ、何度も試したが、結果は同じだった。仕方なく、再度パスワード再設定の手続きをした。サイトからのメールは間もなく届いた。

しかし、結果は同じだった。いろいろな方法でユーザーID とメールで送られてきた再設定用のパスワードを入力したが、

「ユーザーID かパスワードが間違っています」

というメッセージが出てくるだけだった。埒が明かないので、カスタマーサービスに電話をした。

事情を説明すると、オペレーターもパスワードは分からない仕組みになっているという。ただ、再設定は出来るとのことで、再設定をしてもらった。まもなく、再設定のメールが届き、期待してユーザーID と新たな再設定用パスワードを入力すると、今度は違うメッセージが表れた。

「ユーザーID かパスワードを一定回数間違えたので、このアカウントはしばらく利用できません」

状況を電話でつながっていたオペレーターに話すと、直ぐにアクセス制限を解除してもらえた。気を取り直して再度挑戦すると、

「ユーザーID かパスワードが間違っています」

というメッセージが再び表れた。元の木阿弥である。

そのことをオペレーターに伝えると、スマートフォンかタブレット PC のような他にネットにアクセスできるデバイスを持っていないかと聞かれた。確かに、私が使っていたパソコンかネットワークに問題があったのかもしれない。面倒だと思いつつも、スマートフォンを取り出し、ブラウザを開いて、サイトにアクセスして、再度挑戦してみた。すると、

「ユーザーID かパスワードが間違っています」

というメッセージが再度出てきた。やはり結果は同じである。

そのことを再度オペレーターに伝えると、お互いに「困りましたね・・・」ということになり、彼女は「上の者に聞いて来ます」と言って、直ぐに戻ってきた。「もう一度、パスワードを再設定してみましよう」と言う。既に何度もやったことなので同じことの繰り返しなのではとも思えたが、試してみることは大切である。「では、再設定しますね」という声と、キーボードをカチャカチャ打つ音が受話器から聞こえてきた。

それまでスマートフォンを見ていた私はパソコンに戻り、メールを確認すると、再設定用のメールが既に届いていた。その時、ハッとして、全ての謎が解けた。

約 10 分後、私は無事にアカウントにログインすることができた。

最初にボタンを掛け違えてしまい、そこに偶然が重なり、いくつもボタンを掛け違えてしまった。「再設定は機械的に処理されるので通常は瞬時に来るものだ」という私の思い込みが間違っていたのである。10 分、あるいはそれ以上かかる場合も実際にはあるようだ。